

今、何の病気が流行しているか！

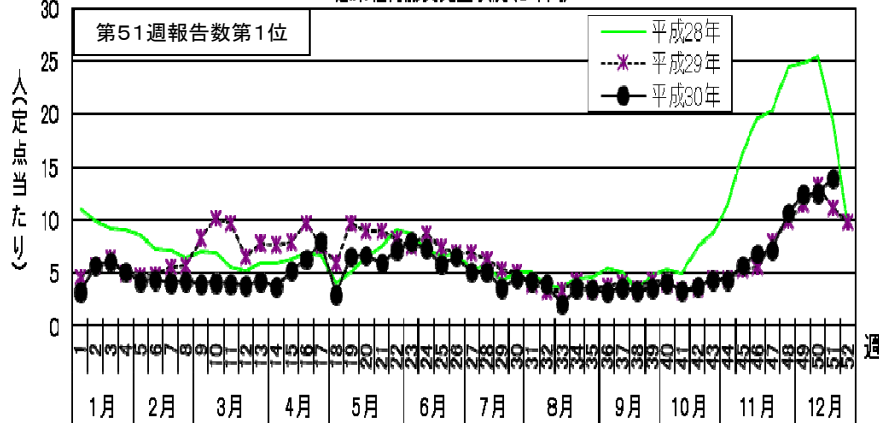
【感染症発生動向調査事業から】

平成30年12月17日（月）～平成30年12月23日（日）〔平成30年第51週〕の感染症発生状況

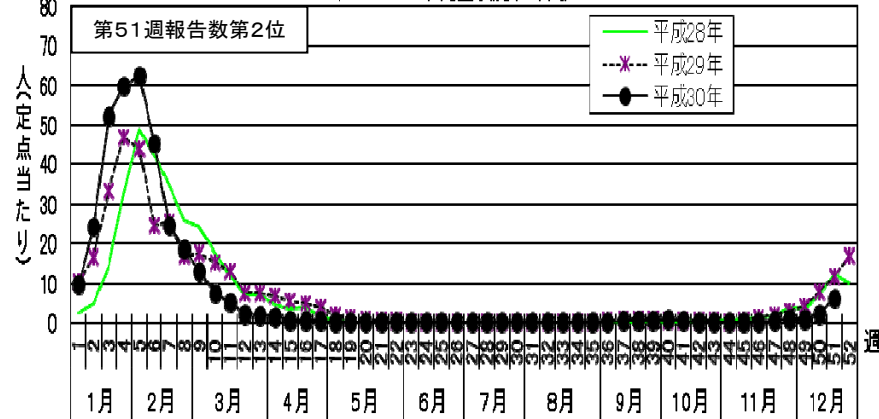
第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は13.95人と前週（12.57人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.10人と前週（2.16人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.41人と前週（3.89人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



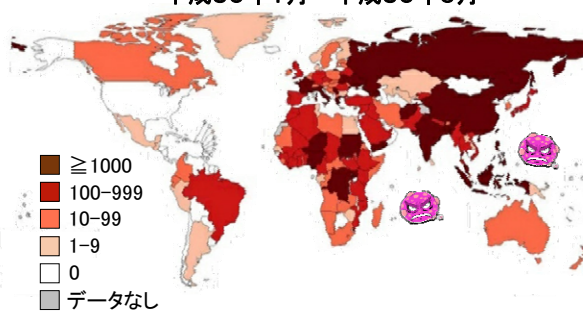
インフルエンザ発生状況(3年間)



冬休みに海外へ行かれる方へ～渡航先はどちらですか？～

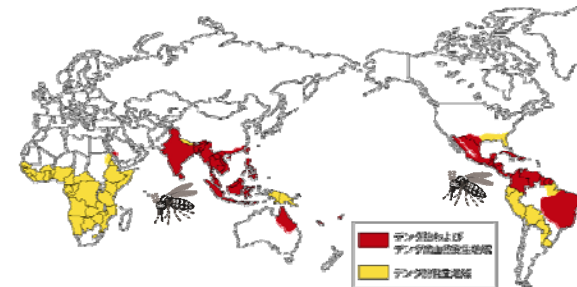
今年は7月下旬以降、全国的に風しんの患者報告数が増加していますが、海外では風しん以外にも、麻しんやデング熱など他の熱性発疹性疾患が流行している地域があります。流行地から帰国後2週間程度は発熱や発疹などの症状に注意し、感染症が疑われる場合は、必ず事前に電話で症状や渡航歴などを伝え、医療機関を受診するようにしましょう。

世界における麻しんの報告数
—平成30年1月～平成30年6月—



世界保健機関（WHO）ホームページから引用

世界におけるデング熱及びデング出血熱の発地域



国立感染症研究所ホームページから引用

外務省海外旅行登録「たびレジ」をご存知ですか？

「たびレジ」は、外務省からの最新の安全情報を日本語で受信できる海外安全情報配信サービスです。登録することで、出発前から感染症情報を含む旅先の安全情報を入手することができます。海外へ渡航される方は、「たびレジ」には非御登録ください。登録方法は外務省ホームページをご覧ください。

たびレジ 🔍 で検索！